

ピアノ アドバイザー



吉原 麻実

3歳よりエマ音楽院にてピアノを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、武蔵野音楽大学音楽学部ヴィルトゥオーソ学科を首席で卒業。同大学院修士課程ヴィルトゥオーソコース修了、クロイツァー賞受賞。福井直秋記念奨学金特別給費奨学金奨学生(授業料全額免除)。2016.2018.2019.2020年福井直秋記念奨学金給費奨学金奨学生。第1回国際モスクワ音楽オンラインコンクール(22歳-26歳の部門)プロフェッショナルピアノ部門第1位、特別賞。第5回 Krystian Tkaczewski 国際ピアノコンクール(ポーランド)年齢制限なしの部門審査員特別賞。第7回東京ピアノコンクール大学生の部第3位。第22回日本演奏家コンクール一般Aの部第3位。第35回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール大学生の部第2位(最高位)。第32回栃木県学生音楽コンクール第1位。ピティナピアノコンペティションF級全国大会入選。第9回栃木県ジュニアピアノコンクール最優秀賞、大賞。第17回ショパン国際ピアノコンクール in Asia 大学生部門全国大会金賞、アジア大会奨励賞。一般社団法人日本ピアノ調律師協会第20回新人演奏会出演～平成30年度ピアノ卒業生によるピアノ独奏～に出演。2016～2018年武蔵野音楽大学選抜学生によるニューストリームコンサート～ヴィルトゥオーソ学科演奏会～出演。スタインウェイ&サンズ東京「ライラコンサート」～有望な学生ピアニストによるコンサートシリーズ vol.50 出演。ソリストに選抜され、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番 Op.23を武蔵野音楽大学管弦楽団と共演。宇都宮短期大学創立50周年プレイベント宇都宮短期大学管弦楽団&栃木県地域オーケストラとモーツァルトピアノ協奏曲第23番イ長調を共演。武蔵野音楽大学卒業演奏会、武蔵野音楽大学音楽学部新人演奏会に出演。WOWOW 開局30周年記念ドラマ「華麗なる一族」のピアノ吹き替え演奏及び演技指導を担当する。これまでに野尻園美、福田恭子、仲山笑子、エレナ・アシュケナージ、イリヤ・イーティンの各氏に師事。ピティナ指導会員。江戸川演奏家協会会員。現在、宇都宮短期大学附属高等学校音楽科講師の傍ら東京を中心に演奏活動を行なっている。

はじめに

私は幼少期から様々なコンクールに挑戦してきました。コンクールに出場する事が大好きだった事を今でも覚えています。様々なステージの場を踏む事で、レベルアップにつながったかなと思います。

コンクールというのは良い結果が出るばかりではなく、結果があまり良くない時もあります。

結果が出なかった時はその悔しさをバネに、自分の演奏を見つめ直す良い機会であると考え、常に前向きな気持ちを持つ事が大切です！

「努力は絶対に裏切らない」と私は思います！！ポジティブな気持ちで音楽と向きあっていってください！

ピアノは自分の鏡です！！！！



ピアノという一台の楽器で、自分を思いっきり表現しましょう！！

～継続は力なり～

大学内でピアノコンチェルトのソリストオーディションに選抜される事は、私の目標でした。それが大学院一年生の時に叶い、東京芸術劇場で武蔵野管弦楽団と共演出来た事が貴重な経験となりました。

日々の練習を大切にし、頑張る事ができました。努力して、それが結果につながったあの瞬間は絶対に忘れません。1つの目標に向かってやり遂げるといふ事の大切さを改めて感じました。リハーサルの合わせ練習を含め、本番もとても楽しかったです。演奏会当日は沢山のお客様にお越し頂き、心から嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

皆さんも目標に向かって、ピアノと楽しく人生を歩んでいってください！



大ホールで演奏する時のポイント

1. 音の広がりを感じて

大ホールで演奏する時は、大きな空間を感じて弾かなければなりません。普段練習する時から、常に広い空間で演奏する事を意識しましょう！！また、自分の出した音をしっかり耳で聞き、ホール全体に自分の音を響き渡らせましょう！



2. 自分の出したい音をイメージしてから音を出す

音を出す前に、頭の中で「こういう音を出したい！」というイメージを強く持つ事がとても大切です！そのためには日頃の練習の時から自分が表現したい音作りをしっかりしておく事がとても大切です。

3. 速いパッセージを弾く時に気をつける事

大きなホールで演奏する場合、あまり速すぎないテンポで弾く事が大切です。速すぎるテンポで弾いてしまうと、細かい音ははっきり聴こえなくなってしまうので、耳をよく使い、適切なテンポで演奏しましょう！

4. ペダルに気をつける

ペダルの使い方に注意しましょう！響きが多いホールで弾く場合、ペダルを多く使ってしまうと一音一音がはっきり聴こえなくなってしまうので、ホールの響きを瞬時に判断し、よく耳を使って演奏しましょう！

5. 脱力を意識しよう

肩の力を抜いて、脱力しましょう！また、しっかり体を支えて弾くことが大切です。体の力が抜けているかどうかを日頃から意識しましょう！

6. 舞台上で演奏するにあたって

とにかく自分の演奏に自信を持ちましょう！今までの努力は絶対に裏切らないという気持ちで舞台にあがる事がとても大切です。ホールの響きを思いっきり楽しんで弾いてください！